

特開 2002-56870

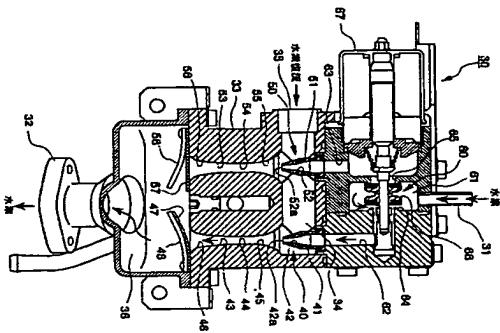
(P 2002-56870 A)

(43)公開日 平成14年2月22日(2002.2.22)

(51)Int. C1' 調理記号 H01M 8/04 F1 H01M 8/04 N 50026 8/10 テーパー (参考) K 5H027 8/10

審査請求 未請求 請求項の数3 0L (全10頁)

(21)出願番号 特願2000-243370 (P2000-243370) (21)出願人 000005326 本田技研工業株式会社 東京都港区南青山二丁目1番1号 (22)出願日 平成12年8月10日 (2000.8.10) (22)発明者 斎藤 勝美 (72)発明者 埼玉県和光市中央1丁目4番1号 株式会社 本田技研研究所内 (72)発明者 西木 和也 (74)代理人 100061938 本田技研研究所内 (74)代理人 志賀 正武 (外5名)

(54)【発明の名称】燃料電池の流体供給装置  
(55)【要約】  
【課題】小流量から大流量まで広範囲に亘って所定のストイキ特徴を確保しつつ、必要流量の燃料を流せるようにする。  
【解決手段】ユニット本体3に、第1エゼクタ40と第2エゼクタ50と切り替え弁60を内蔵する。切り替え弁60は、第1通過路6-2と第2通過路6-3のいずれか一方を選択して弁室61と連通させ他方を遮断する機能を有する。第1通過路6-2は第1エゼクタ40のノズル11に連通し、第2通過路6-3は第2エゼクタ50のノズル51に連通する。第1エゼクタ40は復流室34に連なるディフューザ通過路4-3を有し、第2エゼクタ50は復流室3-4に連なるディフューザ通過路5-3を有し、ディフューザ通過路4-3とディフューザ通過路5-3は合流通過路3-6を介して水素出口管3-2に接続する。  
(56)【請求項】未請求 請求項の数3 0L (全10頁)



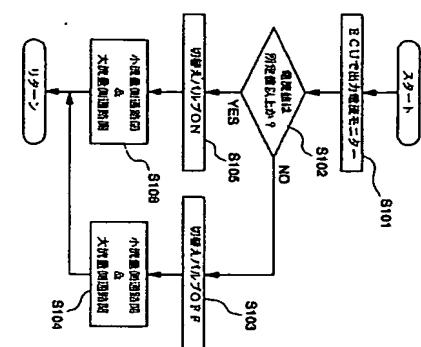




(9)

特開2002-56870

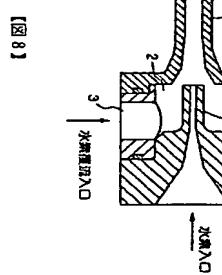
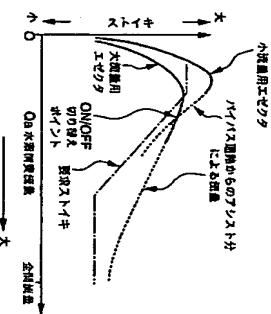
[図4]



(10)

特開2002-56870

[図5]



[図6]

